



第86回

実は隣のスゴイ人

【今回のスゴイ人】
人形作家 山桜桃

にしむら くみこ
西村 久美子さん

曾於市内のスゴイ人にスゴイ人を紹介してもらうこのコーナー。前回のスゴイ人、中崎ナミヨさんにご紹介いただいたこの方は「妖精を見るような人形を作る創作人形作家の ゆすらさん 想像の世界を作るスゴイ人」とのこと。



この個展をきっかけに他のギャラリイからも声がかかるようになり東京・横浜を中心に個展を11回、グループ展を7回。人形写真集の刊行や企業のイメージキャラクターも制作しました。

「人形を見た方が喜んでもらえることが私の喜び。想像を膨らませて見てほしいです」

現在は岩川の自宅・アトリエで制作している西村さん。敷地内にある庭から着想を得ているそう。

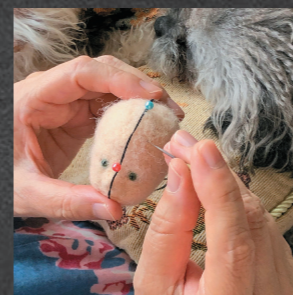
「庭にいる虫や花、季節の移り変わりが、今まで気がつかなかった物語を教えてください」

庭で見つけた虫を擬人化した人形や星を捕まえようとする妖精の人形を制作しました。

今年の秋ごろには、自宅に展示場を開設する予定です。

「人形を持つ物語や空気感を感じて楽しんでほしいです。お客さまにはお茶を飲んでゆっくり過ごせるスペースになつてほしいと思っています」

展示場に関する情報は、今後インスタグラムを開設し情報発信されるそうです。



▲制作中の様子。こちらは羊毛フェルトを使用している

今回は、大隅町にお住まいで人形作家の山桜桃として活動されている、西村久美子さんに話を伺っていただきました。

人形制作を始めたのは30代のころ。「形になるものを作ることが楽しくて、こんなに面白いことがあったのかと思ったほどでした」

人形教室で学んだ技法を基にして試行錯誤を繰り返して石塑・樹脂粘土・和紙・布・羊毛などの素材を用いて、それぞれ一点物の人形のイメージにあった方法で制作します。

人形を作り始めて数年経ったころ、好きなフランス人形作家とコミュニケーションをとりたくて、フランス語講座を受けていました。

「自分が作ったものをフランス語で紹介する授業で人形を持っていったら、『作品を展示しませんか』と提案され初めての個展を横浜で開催しました」